

(一社)日本写真測量学会関西支部 基礎から学ぶ空間情報学講習会
アンケート(2016/7/29)集計結果

7月29日に開催しました空間情報学講習会に参加のみなさま、お疲れ様でした。

皆様からお寄せいただいたアンケートを以下のように集計しましたので、報告します。この集計結果は、今後当支部が開催する講習会に役立たせていただきます。

支部役員一同、受講者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

アンケート配布者数 56名

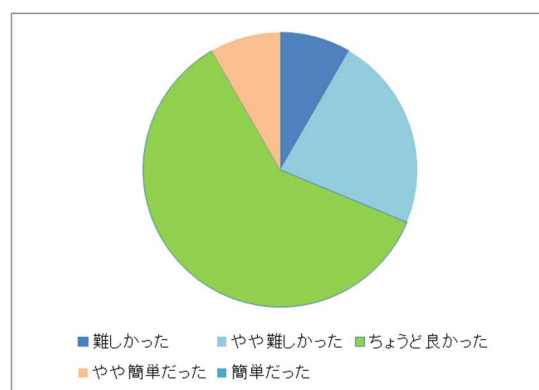
回答者数 48名

以下、提出者48名の結果集計です。お寄せいただいたコメントについては、原文をそのまま記しています。

1. 今回の講習会に対する感想

1-1 全体としての難易度はいかがでしたか。

「難しかった」	4名
「やや難しかった」	11名
「ちょうど良かった」	29名
「やや簡単だった」	4名
「簡単だった」	0名



1-2 特に難易度の高かったものがあれば、講義名とどの部分かをお聞かせください。

デジタル写真測量 3名(うち1名は計測原理、1名はカメラキャリブレーション)

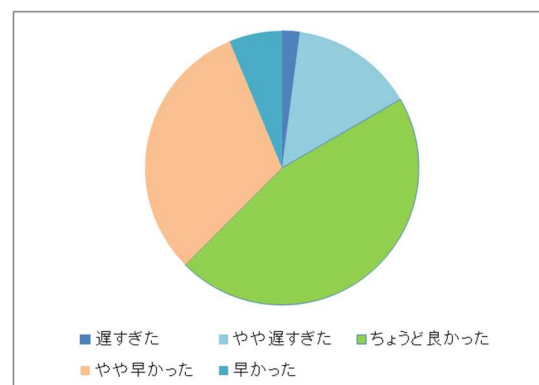
衛星リモートセンシング 10名(うち1名は太陽放射、地球放射、大気による吸収)

レーザ計測 2名(点群の生成・活用)

地理情報システム 1名(ベクターデータの幾何学と位相構造)

1-3 全体としての進め方はいかがでしたか。

「遅すぎた」	1名
「やや遅すぎた」	7名
「ちょうど良かった」	22名
「やや早かった」	15名
「早かった」	3名



1-4 「遅かった」あるいは「早かった」を選択した場合、講義名とどの部分かをお聞かせください。

早かった： デジタル写真測量 5名

1-5 全体としての教え方はいかがでしたか。

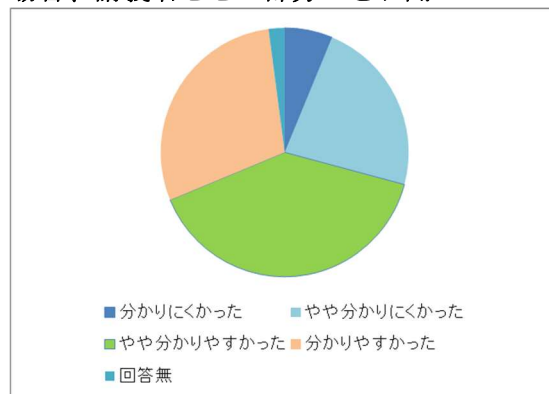
「分かりにくかった」 3名

「やや分かりにくかった」 11名

「やや分かりやすかった」 19名

「分かりやすかった」 14名

回答無 1名



1-6 「分かりにくかった」を選択した場合、講義名とどの部分かをお聞かせください。

デジタル写真測量の後半

各講義で数式等が出てくる部分

2. 今後の講習会に対する希望

2-1 基礎編について、追加を希望する分野があれば記載ください。

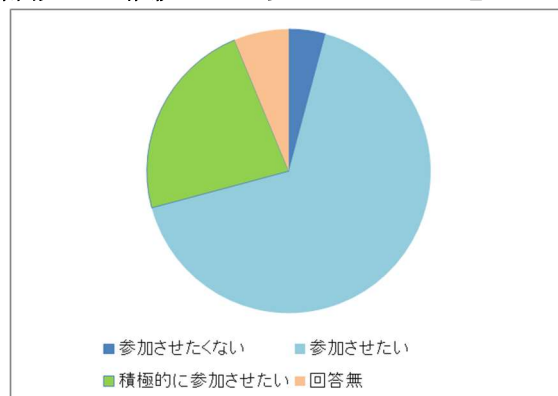
- ・ GIS の実用例
- ・ 航空写真測量及び図化
- ・ 今話題の分野。新しいもの
- ・ GNSS
- ・ UAV
- ・ 準天頂衛星を含めた最近の GNSS 動向
- ・ ICT 出来型測量
- ・ 画像等は実際のソフトを使って見たかったです

2-2 基礎～中級編について、追加を希望する分野があれば記載ください。

- ・ ALB や UAV 等最新の測量技術
- ・ 技術の革新や実例
- ・ データの汎用性（作成したものの提出、確認し合う時）
- ・ GNSS
- ・ Pix4dMapper のレポートから UAV 測量の精度管理票を作成するための有効な方法
- ・ SfM を利用したデータ利用。全ての点群を合成した 3 次元モデリングの活用、GIS
- ・ 写真測量
- ・ 画像分類手法、大気や雲の補正方法、オルソ化手法
- ・ ステレオ写真の計測原理
- ・ ICT 出来型測量
- ・ JPGIS、PC を持ち込んでのデータ処理（実習）
- ・ UAV を用いた 3 次元モデル作成

2-3 本空間情報学講習会を構成する4分野について、3年サイクルで実施する初級編から初級～中級編という構成について、今後とも皆さんの所属先から継続させて参加させたいと思いますか。

「積極的に参加させたい」	11名
「参加させたい」	32名
「参加させたくない」	2名
回答無	3名



2-4 「参加させたくない」を選択した場合、理由をお聞かせください。

基本が必要

その他、講習会に関しまして感想やコメントがありましたら、記載ください(自由記入)。

- ・ 表面上の話だけでなく実際の事例も使いながらの説明だったので比較的容易に理解できました。
- ・ 実測や用地測量の内業のお手伝いをしています。仕事の幅を広げるきっかけにたくて受講しました。しかし大学は文系で、専門的な勉強をしたことがない私には、まったく理解できないところもあり、自分のような者は対象でなかったのか？と感じました。空間情報学の基礎、レーザ計測、GIS はとても分かり易く、仕事でも活かそうです。
- ・ 地下埋設物の研究があれば話を聴いてみたい。
- ・ 通常業務では学ぶことのできないことを学ぶことができ、今後の業務に活かしたいと感じた。
- ・ 原理等分からず作業していた部分もあったので、今日聴けて勉強になりました。
- ・ リモートセンシングのテキストはカラーにしてほしかった。
- ・ この分野は初心者のため3次元が関わる技術の理解が難しかった。映像等を流せば理解しやすくなると思います。
- ・ 技術進歩が速いので、3年サイクルは長い。
- ・ ジオイド高等、基礎の基礎から時には絵や表、写真付きで説明して頂けたので、文系出身者としては助かりました。
- ・ テキストの内容だけでも面白い。
- ・ 一日で説明できる内容ではないので、二日以上にするか、分野を限定した方がいい。
- ・ 写真測量とリモートセンシングについては重要な分野なので、講習内容と受講者の知識到達点を明確にして頂きたい。「後は資料を読んでおいて下さい」では、参加費を払ってまで受講しなくても、書籍を購入して独学するのと変わらないと感じた。

- 分かり切っているであろう基礎理論も初めて耳にする者を対象とした講義のされ方を
して頂きたかったです。
- 半年に1回のペースの開催でも良い。
- 時間が足りない講習内容もありましたが、多方面の興味深さもあり、何か分野を増して
二日間の講習会も良いと思います。また資格に繋がる面もあるとよいと思います。上級
編の講習会は予定されないのでしょうか？
- 出力もカラーだと理解しやすいと感じる。
- 写真測量：事例紹介が長すぎる。デジタル写真測量と関係のない話が多い。基礎編、初
級編、中級編、上級編のランク分けを明確に。
- レーザ計測の資料が見易く、説明も聞きやすかったです。リモセンの処理部分をもう少し
聞きたかったです。

以上